



中距離電車停車に向けた検討 ④

JR川口駅の課題である、通勤・通学時や電車の遅延・運休時における混雑の発生に対応するため、令和4年11月にJR東日本と締結した「中距離電車のホーム増設に向けた調査協定」に基づく調査の結果報告を受け、現在JR川口駅への中距離電車の停車に向けた具体的な検討を進めています。今回、パブリック・コメント手続(意見募集)を実施するにあたり、これまで連載した内容をあらためて振り返ります。

Q 中距離電車の停車やJR川口駅再整備による効果は？

A 目的地までの**所要時間の短縮**や改札内での**混雑の解消**が期待できます。
また、通勤・通学やJR川口駅への来訪がしやすくなることにより、定住人口や**関係人口**※の拡大も期待できます。
※居住地は別の地域だが、その地域に魅力を感じ訪問するなど、多様に関わる人々

所要時間の比較 (見込み)



宇都宮線・高崎線

川口

上野

東京

新橋

上野東京ライン

品川

東海道線

羽田空港

羽田空港アクセス線(仮称)
(東山ルート・アクセス新線)

Q 停車対象とする中距離電車はどの路線？

A 通勤時間帯における運行本数の多さや、混雑率が相対的に低いことに加えて、緊急時の代替性が相対的に高いことから、湘南新宿ラインではなく、より鉄道輸送力の増強に寄与できる**上野東京ライン**の停車を目指しています。
また、現在JR東日本では、令和13年度の開業を目指し、上野東京ライン沿線から羽田空港へのダイレクトアクセスが可能となる「羽田空港アクセス線(仮称)」の計画が進められています。

Q 具体的な整備の内容を教えてください。

A **上野東京ライン**乗り入れのために京浜東北線ホームの**西側に新たなホームを整備**します(京浜東北線のホームの位置は変わりません)。また、駅舎などの整備も行います。



Q

事業費はどのくらいかかるの？

A

上野東京ラインのホーム増設と駅舎の改修に要する事業費は**約400億円**前後を想定しています。

なお、事業費は、国庫補助金の活用を含め、長期的・計画的な支出に向け検討を進めていきます。

Q

今後の見通しはどのようなの？

A

令和6年1月にJR東日本から提出された調査結果報告を受け、現在、JR東日本と基本協定締結に向けた協議を実施しています。基本協定を締結した場合、その後、測量・設計に数年程度※を要し、さらに、上野東京ラインのホーム供用開始までには10～12年程度※の工事期間を要します。

※今後の調整、協議の状況により測量・設計や工事に要する期間は変動する可能性があります。



パブリック・コメント手続（意見募集）を実施します



市ホームページ
7月22日(月)～

JR川口駅への中距離電車停車などに関して、市民の皆さんからご意見を募集するため、「川口駅再整備基本計画(案)」のパブリック・コメント手続を7月22日(月)から実施します。(→17ページ)

問い合わせ…都市計画課 ☎048-242-6332 FAX048-285-2003

